

千葉市に住む
外国の人と

日本語で交流!

あなたも仲間に

平成28 年度事業実施状況(平成29.1.30 現在)

取組	実施内容	実施期間	参加者数 ()は外国人人数	国・地域	連携等
取組 1	テーマでつながる日本語クラス	2期実施 6/11-6/25, 11/11-11/25	66人(32人)	アメリカ、イギリス、イラン、インドネシア、エクアドル、エジプト、エルサルバドル、韓国、コロンビア、スリランカ、タイ、中国、ナイジェリア、フィリピン、ベトナム、マレーシア	千葉市社会福祉協議会若葉区事務所 千葉市男女共同参画課 千葉市廃棄物対策課
	にほんご会話クラス	3期実施 6/21-7/19, 10/25-12/6, 1/18-2/15 うち1期は若葉区にて開催			
	初級文法クラス	1期実施 5/13-6/10			
取組 2	日本語交流員 新基本講座	4期実施 5/10-5/24, 7/6-7/20, 12/1-12/15, 2/18-3/4	127人(4人)	イギリス、タイ、台湾、中国、日本	
	日本語交流員 日本語活動充実講座	1期実施 9/7-10/26			
	日本語交流員 対話の達人講座	2期実施 6/2-6/16, 11/2-11/16			
	これは使える活動素材講座	6期実施 6/14, 7/7, 9/6, 11/9, 12/3, 1/25			
	どうなってるの日本語講座	2期実施 6/15-6/29, 1/12-1/26			
	ファシリテーター研修	12/16			
取組 3	多文化理解セミナー	3期実施 10/1, 10/28, 12/10	101人(35人)	インドネシア、タイ、台湾、中国、日本、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、フィリピン、ベトナム、ペルー、マレーシア、モロッコ	NPO法人多文化フリースクールちば、NPO法人千葉イスラム文化センター、神田外語大学、千葉市子育て支援館、千葉市社会福祉協議会若葉区事務所
	防犯パトロールキャンペーン	2箇所(3回)実施 7/16, 10/8, 10/18	7人(4人)	中国、日本、フィリピン	今井連合町会、神田外語大学、千葉県千葉西警察署、幕張1丁目日本郷町内会
	防災セミナー	10/13	36人(14人)	イラン、インドネシア、韓国、チリ、中国、日本、ニュージーランド、フィリピン、ベトナム、ペルー、モルディブ	NPO法人日本防災士会千葉県支部
取組 4	多文化協働ネットワーク会議	11/30	17人(4人)	日本、アメリカ、エクアドル、オーストラリア、中国	千葉県千葉中央警察署、千葉県千葉西警察署、千葉市(国際交流課、幼保運営課、保育所、中央区役所地域振興課地域づくり支援室、中央保健福祉センター健康課、稲毛区役所地域振興課くらし安心室、美浜区役所地域振興課地域づくり支援室、美浜保健福祉センター健康課)



インターネットで
活動を紹介しています

ちば多文化協働プロジェクト

検索

投稿

取組の予告、報告
目的・内容・参加者の声

動画

スピーチ・ミニドラマ
防犯パトロールの様子など

写真

クラスや講座の様子
チラシなど



ログイン不要
どなたでも閲覧可能

<https://www.facebook.com/chibatabunka26>

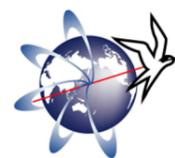
取組の予定は協会窓口でもご案内しています。
参加、見学、大歓迎！下記までお問い合わせください。

公益財団法人 千葉市国際交流協会

〒260-0013 千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館8階

TEL 043-202-3000

ちば多文化協働プロジェクト お問い合わせ chibatabunka@ccia-chiba.or.jp



千葉市の外国人住民は約 23,000 人*、全市人口の 2.4%を占め、駐在社員、家族、実習生、介護看護職など、さまざまな立場で社会を構成する一員となっています。(*H28.11 現在)

多様な人々が共に生きる社会をめざすには、ひとりひとりの文化に耳を傾けあう対話が欠かせません。

でも

「日本語で自己表現する自信がない…」
「外国人と話すきっかけがない…」という声も。
これでいいでしょうか？

「ちば多文化協働プロジェクト」は、多様な市民の相互理解、および外国人市民の日本語習得を目的とする事業です。文化庁の委託を受け、千葉市国際交流協会が平成 26 年度から参加者と協働で発展させてきました。自分を表現したり他の人を理解したりしながら、地域のよりよい姿を共に描いていくことをめざしています。

あなたも参加してみませんか？

平成 28 年度の取組をご紹介します。

(公財) 千葉市国際交流協会

日本語クラス

このプロジェクトの日本語クラスは市民参加の対話型です。身近な話題でお互いが話します。外国人市民にとっては、クラス活動が日本語習得の過程になり、日本人市民にとっては異なる価値観に触れたり、日本語を母語としない人々とのよりよいコミュニケーションのとり方を考えたりする機会となりました。

テーマでつながる日本語クラス

「仕事」「環境」の2つのテーマで、話す・聞く・読む・書く・調べる・つくるなどの活動をしました。経験や意見を発信し、地域からの参加者とよりよい社会を考えました。スピーチやミニドラマを動画で公開しています。（動画の見方は裏ページをご覧ください）

にほんご会話クラス

日本語で話せるようになりたい生活場面を選び、会話を作ったり、経験や出身地域の状況を話したりしました。日本語があまりわからない人もよくわかる人も、それぞれの形で対話に参加できました。

初級文法クラス

～することができる／～するまえに／～したことがある、など日本語の基礎的な文の作り方を練習しながら、身近な話題でたくさん話しました。目的は生活の中のコミュニケーション向上。文の形に意識を向けつつ、生きた会話を大切にしました。



すらすら話せなくて大変だったが、言いたいことが伝わったとき、とても楽しかった

ドラマを作ったり作文を書いたり、たくさん日本語を使うことができた

自分から日本語を話したり書いたりするようになった

日本人といっしょに作品を作っておもしろかった

いろいろな国の今を知ることができ、刺激になった

一緒に会話づくりをすることによって、改めて日本の社会や文化について考えた

クラスで展開された方法、会話の練習の仕方などが今後役に立ちそう

日本語交流員講座

千葉市国際交流協会には、外国の人と1対1で交流する日本語交流員の制度があります。交流員の役割は、ことばの力の差に配慮しながら外国人市民と日本語で話すことです。講座では活動に必要な知識やスキルを理論と実習で提供しました。交流員活動にご興味のある方は協会までお問い合わせください。

新基本講座

対話型日本語活動に必要な知識とコミュニケーションスキルを3回にまとめました。新たに活動を始めたい方にも従来の交流員にも、今後の指針となります。

日本語活動充実講座

より具体的・実践的に活動の内容を考える講座です。参加者同士が経験を共有することで生まれた気づきや学びもありました。

対話の達人講座

お互いを知るための対話をとおして外国人参加者が日本語を獲得していけるようにするには、コミュニケーションのとり方に交流員の工夫が要ります。外国人参加者との対話を録音してふりかえりながら、よりよいあり方を探りました。

これは使える活動素材講座

対話が楽しくなる活動素材とその利用方法を、1回完結の講座で1種類ずつ紹介しました。

どうなってるの日本語講座

インタビュー動画の発話や広報紙の文章を使って、日本語の構造や文体、動詞の活用を観察しました。ふだん母語として意識せずに使っている日本語を、外国語として日本語を学ぶ人の視点に立って見つめました。



待つことの大切さや、発信してもらうための工夫などがわかった

従来とは違う日本語活動の楽しさに気づいた

自分の教え方がいかに古いかを思い知らされた

少しの意識の違いで、日本語交流員と外国人参加者の時間がより有益なものになる

この素材を利用すると、お互いの背景がわかり、理解しやすくなる

意識しないで使っている言い方を見直すと、説明できないことが多くて驚いた

複雑な日本語の分解は、奥が深くとても楽しかった



多文化理解セミナー

協働・交流を通じて多様な言語・文化を理解するセミナーを3回実施しました。いずれも外国人市民と日本人市民が気軽に楽しく話を聴きあえる時間を多く設けました。

外国人市民と多言語で学ぶ グローバルシティちばの未来

中高大生など若者を中心に、多様な地域出身の参加者がグループで協働しました。まちづくりで大切だと思う項目をランキングして理由を説明。ことばが通じない場合の工夫や、それぞれの価値観に耳を傾ける姿勢が求められました。

グローバル化や日本の将来について、改めて考えることができた

仕事から離れてグループの人とコミュニケーションができてとても楽しくまた勉強になった



多様な価値観を知り、思考の幅が広がった

自分の国のことをあまり知らないことに気づかされた

外国出身パパママによる 絵本の読み聞かせと子育て交流

インドネシア、オーストラリア、イタリア、バングラデシュ、タイの出身者が母語で絵本を読み聞かせ。絵本の一部を参加者もいっしょに言ってみたり、各国の手遊びを楽しんだりしました。子育ての話題で交流もできました。

子育てに国境はないな、とおもしろく感じた

自分の言語の本を読み聞かせできて楽しかった

息子はどの国の言葉でも楽しんでいて驚いた



普段触れない言語に触れられて新鮮だった

どうしてお祈りするの？ 聞いて話して知るイスラーム

イスラームについての講義のあと、日本に住む外国人ムスリムとの交流で理解を深めました。日本の生活の中で教義をどう実践しているのか、生の声を聴くことができました。

思っていたよりも信仰に自由度があると知り、驚いた

グループセッションで、ムスリムではない私たちの疑問に同じ目線の高さで答えてもらったことがよかった



イスラームについて自分が知っていることを日本人と共有するととてもよい機会だった

地域活動参加促進

多文化協働の輪を町内会へ。外国人市民が地元の人々と交流しながら防犯防災活動に貢献できることをめざし、防犯パトロール参加キャンペーンと防災セミナーを行いました。

身近に役立つものを作り、交流もできた

もっと多くの人に参加してほしい



役に立つ情報をたくさん聞くことができた

救命講習の胸骨圧迫が疲れた。若い人は3～4分できるが、お年寄りにはちょっと無理かな

多文化協働ネットワーク会議

地域の多文化化に伴う課題に、行政各部署や関係団体が連携してあたるための体制整備です。

「安心安全な地域づくりと外国人市民」というテーマで、保育・保健・警察・地域振興の担当者が外国人市民を交えて課題を共有しました。

さまざまな機関の取組のほか、実際に外国の方の話が聞けてとても参考になった

他業種の方と意見を交換する場所などなかったので、今回課題共有ができてよかった

より具体的な課題を掘り下げていく必要がある

課題の多くは外国人コミュニティも認識しており、解決に協力したい

